

SGU 四国ゴルフ連盟会報 No.50

発行 / 四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

2013 (平成25) 年度 SGU主催競技開幕

四国ゴルフ連盟主催競技の開幕となる第33回四国女子アマチュアゴルフ選手権(72名参加)が5月22・23日の2日間、香川県の満濃ヒルズカントリークラブで開催され、四国地区強化選手で中学3年生の河本 結選手(松山国際G)が最年少での優勝を飾った。

また、6月5～8日の4日間、愛媛県の道後ゴルフ倶楽部で開催された第33回四国アマチュアゴルフ選手権(154名参加)は、二宮慎堂選手(今治C)が崎山俊紀選手(今治C)、堀田 翼選手(スカイベイG)とのプレーオフを制し初優勝。父の二宮英二さん(四国アマ)、母の二宮薫さん(四国女子アマ)、妹の二宮歌奈子さん(四国女子アマ)と家族全員が四国を制するという快挙を成し遂げた。



河本 結選手



二宮慎堂選手

河本 結選手は最年少V、二宮慎堂選手は家族V達成

震災復興支援グリーン・ティー・チャリティ-

2013年度(第33回)

四国女子アマチュアゴルフ選手権競技
(6,048yd Par72)

最終成績	+/-	所 属	合計	1R	2R
優勝 河本 結	★-7	松山国際G	137	68	69
2 鴻上ほの花	★-5	新居浜C	139	71	68
3 森田 遙	★-4	坂 出C	140	72	68
4 植野 星香	★-2	鮎 滝C	142	69	73
5 後藤田寧々	★-1	徳 島C	143	72	71
6 辻岡 愛理	★+2	小豆島シーサイドC	146	71	75
山本 唯加	★+2	Kochi黒潮C	146	70	76
丹 萌乃	+2	西 条G	146	66	80
9 中川 月奈	+3	松山国際G	147	73	74
高橋並可里	+3	チサンC北条	147	72	75
11 森井 菖	+4	小豆島シーサイドC	148	74	74
高橋英里子	+4	松山シーサイドC	148	74	74
上野菜々子	+4	ロイヤル高松C	148	73	75
14 滝本 二葉	+6	詫 間C	150	72	78
15 浦野 菜未	+7	小豆島シーサイドC	151	73	78
16 安藤 京佳	+8	西 条G	152	76	76
中野 なゆ	+8	スカイベイG	152	73	79
18 田中 佳叡	+9	高松ゴールドC	153	79	74
手束 雅	+9	徳 島C	153	77	76
堀 さんご	+9	新琴南GC	153	77	76
阿部 実里	+9	小豆島シーサイドC	153	75	78
片桐 風紗	+9	スカイベイG	153	75	78
岡田 清楓	+9	鳴 門C	153	75	78
公受貴久美	+9	詫 間C	153	74	79

★は、日本女子アマ出場者

日本女子ミッドアマは以下の通り。

白井 晶子、川西 章子、松原 未央、古本 裕美
北岡 由加、藤井 美貴、日笠 里華、藤内 忍
生田 暁美、村田 直子

震災復興支援グリーン・ティー・チャリティ-

2013年度(第33回)四国アマチュアゴルフ選手権競技

(6,708yd Par72)

最終成績	+/-	所 属	合計	1R	2R	3R	4R
優勝 二宮 慎堂	★-3	今 治C	285	75	67	70	73
2 崎山 俊紀	★-3	今 治C	285	72	69	72	72
堀田 翼	★-3	スカイベイG	285	69	69	72	75
4 小川 貴大	★-1	サンセットヒルズC	287	70	71	73	73
遠藤 健太	★-1	アルファ津田C	287	71	72	69	75
6 吉田 泰基	★+0	小豆島シーサイドG	288	71	71	71	75
7 橋本 龍位	★+1	新琴南G	289	73	69	73	74
亀代 順哉	+1	徳 島C	289	69	70	75	75
9 谷本伊知郎	+2	高松グランドC	290	73	75	74	68
10 植本 健介	+3	阿 南C	291	77	76	67	71
森内 信隆	+3	松山シーサイドC	291	73	68	77	73
12 傍士 基	+4	スカイベイG	292	76	69	73	74
笹岡 宣裕	+4	高 知G	292	74	73	70	75
井上 智一	+4	土佐ユートピアC	292	71	67	76	78
15 仲盛 貴明	+6	小豆島シーサイドG	294	75	77	72	70
三木 一外	+6	こんびらLG	294	72	74	76	72
八板 讓	+6	松山国際G	294	77	68	76	73
井上 貴弘	+6	スカイベイG	294	75	71	73	75
19 眞部幸一郎	+7	高松グランドC	295	77	72	73	73
石井 一夫	+7	愛 媛G	295	77	75	70	73
手束 将之	+7	新琴南G	295	72	75	74	74
杉原 悠太	+7	新琴南G	295	73	74	73	75
谷本 成輝	+7	徳 島C	295	71	76	72	76
杉原 大河	+7	徳 島C	295	72	73	73	77
仲盛 将司	+7	詫 間C	295	74	72	71	78

※優勝は、3人のプレーオフによる。

★は、日本アマ出場者

2013年度

第63回四国グランドシニア会春季競技会

山本安雄さん (今治C) が優勝

四国グランドシニア会春季競技会が、愛媛県幹事の高橋献樹さんのお世話により、4月18日今治CCで開催され88名の会員が親睦を深めた。(女性は1名、80歳以上は8名参加)



山本安雄 さん

【次回秋季競技会は10月22日(火)土佐CCを予定】

2013年度 第63回

四国グランドシニア会 春季ゴルフ競技
成績表

(今治CC 男子5,617yd 女子4,882yd Par72)

POS	PLAYER	CLUB	NET	HC	GRSS	O	I
優勝	山本 安雄	今治C	62	18	80	38	42
2	篠原 實	こんびらLG	63	14	77	39	38
3	京河 正強	久万C	64	12	76	39	37
4	廣瀬 博之	屋島C	65	13	78	39	39
5	豊田 徹	松山国際G	65	13	78	40	38
6	濱 博	志度C	66	18	84	43	41
7	岩崎 弘済	土佐C	66	13	79	40	39
8	崔 斗星	滝の宮C	67	18	85	41	44
9	大原 公吉	今治C	67	14	81	39	42
10	白鳥 英二	JクラシックG	67	6	73	37	36

[ベストグロス]

白鳥英二 JクラシックG 73

[80歳以上ベストグロス]

大塚澄男 高松グランドC 83

[女性特別賞]

岩崎敬子 高松ゴールドC 90

四国グランドシニア会女性会員募集!!

女性会員だけではなくありません。もちろん男性もです。女性は当年にとって60歳以上、男性は70歳以上です。四国ゴルフ連盟加盟倶楽部会員であることが条件です。

四国グランドシニア会幹事の変更

昨秋の秋季競技会をお膳立ていただいた徳島県幹事の国見良人さんが亡くなりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

代わりまして、白鳥英二さんに徳島県幹事をお願いすることになりました。改めて4県の幹事をご紹介します。

徳島県幹事 **白鳥英二** (JクラシックG)

高知県幹事 **岩本英起** (土佐C)

香川県幹事 **松岡孝雄** (エリエールG)

愛媛県幹事 **高橋献樹** (サンセットG)

よろしくお願いいたします。

第2回四国地区指定強化選手研修会を開催

4月28日(日)新居浜CCで四国地区指定強化選手と県協会推薦選手を対象に第2回研修会が開催された。四国ゴルフ連盟ジュニア委員会発掘育成部会長でJGA女子ナショナル強化部会委員でもある二宮 薫部会長から、ルール講習やコースシミュレーション等の指導を受けるとともにJGAから派遣の長嶋淳治トレーナーから体力強化手法を学んだ。

四国地区代表選手の活躍

○森田 遥 (坂出C) 選手 日本女子アマ制覇

昨年の日本女子アマチュア選手権で惜しくも2位となった森田 遥選手が今年は雪辱を果たして念願の初優勝。37ホール目のエクストラホールに入る大接戦を見事に逆転で制した。

その他、四国代表8選手中、4選手が決勝トーナメントに進出。鴻上ほの花、辻岡愛理、河本 結の各選手は32位タイと健闘した。

○三木逸子 (土佐C) 選手 日本女子シニア3位

昨年11月JクラシックGC(徳島県)で開催された第34回日本シニアゴルフ選手権で崎山俊紀選手(今治C)が2位、羽藤悟志選手(タカガワ新伊予G)が4位と上位入賞を果たしたことは紹介済であるが、本年5月16~17日エリエールGC松山(愛媛県)開催の第21回日本女子シニアゴルフ選手権では、三木逸子選手(土佐C)が惜しくも6連覇は逃したものの、首位と1打差の3位入賞。

四国で開催されるJGAの全国大会では、昨年、今年と好成績を残している。来年は坂出CC(香川県)で第19回日本ミッドアマチュアゴルフ選手権の開催が予定されている。四国代表選手の活躍を期待。

ギ
ャ
ラ
リ
ー
席

〈誰も破れない大記録〉

アメリカ・ゴルフ協会のツアーで誰も破れない記録があります。あのパーマもニクラウスも、ワトソンも、タイガーも、また今後も破ることは不可能でしょう。それはツアー 11 連勝の大記録です。誰の記録かと言いますと、それはバイロン・ネルソンが持つ記録です。彼は19歳でプロになり、競技会を転々と次第に腕を磨いたのですが、当時はプロが競技に参加するには所属クラブの推薦が必要だったのと賞金が安いので、生活にも困りクラブ専属になっています。その後、腕を磨き1944年頃までの自分の全ての競技の記録を見返し、欠点はチップ・ショットと不注意のミス、それは自分の集中力不足が原因だと気づき、少しでもスコアを縮めることと、生涯の夢の牧場を持つことに目的を絞り努力したのです。それでも1944年には年間23試合で21試合に出て平均ストローク69・67を示すすでに片鱗を見せています。1945年頃、その頃は勝ったり2位になったりしていたが、これではいかんと考え、次の週から気持ちを入れ替えて競技に出ました。それが11連勝の始まりです。①まず3月のマイアミ・インターナショナル(マッチプレイ)で勝ち、②次のシャロット・オープンでサムスニードとプレイオフで勝ち、この頃、ネルソンだけが良いので他のプロから賞金分配方法を変更する意見が出たほどでした。③次はグリーンズポロス・オープンで8打の大差をつけて勝ち、④次のダーナム・オープンも勝ち、4勝の連続優勝は今までの記録と並びました。⑤次のアトランタでも勝ち、そのため、マスコミとファンのプレッシャーが強くなったので、次からは練習ラウンドを止めぶっつけ本番で競技に出ています。当時はこれから2か月間の休みにになり、次の⑥モントリオール・オープンで20アンダーで優勝、72ホール中ボギーが1個だけです。その頃の彼はプレッシャーがありながら気分は最高であったと書いています。⑦次はフィラデルフィア・インクワイラー・インビテーションを、トップを走っていた相手を最後の6ホールで5バーディを取って逆転優勝。⑧シカゴビクトリー・オープンも勝ち、この時はラフがきつく、フェアウェイが狭かったことだけを覚えていると書いています。⑨次には全米プロ選手権でデトロイトのモレインの予選ではメダリストになり、その後、36ホールのマッチプレイを10回勝って優勝しています。競技の途中から背中が痛んで困ったと書いています。⑩次の全米オープンでは2位を11ストロークの差をつけて勝ち、このコースではフライヤーを用心しボールをクリーンに打ったと書いています。2位はホーガンとサラゼンでした。⑪この頃になるとプレッシャーがひどく、またコースの地元連中から試合前の昼食会で講演を頼まれ、それが大きなプレッシャーになり、正直早く終わってくれと思ったと書いています。さて最後の競技はカナデアン・オープンで、ネルソンのためにコースを改造して難しく、パー71から70にし、スニードさえ最初の7ホールは自分の知る限りの最も難しいコースだと言っているほどです。しかし彼はこのコースを68、72、72、68と280で回り、2位に4打差で優勝しているが、この頃は疲れ果て1日も早く終わってほしいと書いています。次の競技はベン・ホーガンが27アンダーの最高のプレイで優勝していますが、その時、彼は正直ほっとしたと述べています。このようにして11連続優勝が達成されたのです。(T.K)

シリーズ お 四 国 随 想 No.42

＝ 遍路の由来その1 ＝

四国遍路の始まりは何によるのか、いつ頃から始まったのか以前にも少し書いたが、最近、種智院大学学長頼富博士の著述『仏教思想からみた四国遍路の意義』を読んだので博士の説を紹介しよう。

遍路とは四国八十八ヶ所巡りのことで、他の巡礼には使わない。例えば西国、坂東、秩父観音巡り等では遍路とは言わない。四国遍路の場合には中世の民俗学、宗教学の両要素によってできた右衛門三郎の贖罪と再生の民話と共に、現代の遍路思想の2大要素となっているのが発心、修行、菩提、涅槃の四転説で、これは四国が4つの国からなっているので適合しやすく理解しやすい。この二字漢語は仏道修習について理解しやすいだけでなく、四国遍路の代表的教理として定着している。

最初の徳島が発心の道場、海岸線の長い高知が修行(修業)の道場、2県を過ぎ遍路にも馴れたが辛さもわかった頃に愛媛の菩提の道場、最後が香川の涅槃の道場になる。この4種類の熟語はわかりやすい仏教用語なので遍路に一番ぴったりである。

発心とは「さとりに向かってスタートする心」、修行は一般では修業だが仏教では修行、つまり「悟りに向かって心と体を使って努力する」ことで、次の菩提は悟りそのものを指すがこの場合は「さとりの実感」をいうのだろう、最後の涅槃は釈尊が入滅したことだがこの場合は(さとり)を求めて修行した人、つまり菩薩が(さとり)を得ることを意味している。

この四転説が経典に説かれたのは7世紀の頃、インドで成立したといわれる密教経典の「大日経」で、この経典は空海が若い頃に読んだが、内容を指導してくれる阿闍梨「先生」が日本に居なかったため空海は急遽中国の長安に旅立ったといわれる大事な経典である。これを密教の大事な曼荼羅で示している。大悲胎藏曼荼羅の中央には四転を示し、最初は東、次が南、さらに西、最後が北で発心、修行、菩提、涅槃となっている。胎藏曼荼羅の四転とは悟りへのプロセスであり、四国遍路の札所配列と一致しているので、ある時期に四国遍路に四転の教理が取り入れられたのだろうと言われている。これで四国の中でも東の徳島が当然一番で発心を表し、修行、菩提、涅槃と続く東廻りが理解できる。また四国遍路に重大な影響を与えた熊野信仰を通じて中世後期の頃には発心、修行、菩提、涅槃の四転説が四国に伝わり遍路の根本原理になったのだろうと博士は説明されている。(手島皓一)

シリーズ 倶楽部コースのご紹介

その 53

当ゴルフ場は、高松の中心部から車で約25分、空港からは約7分のところにあり、アクセスは抜群の環境です。東京からの日帰りプレーも可能です。

開場は1995年。川田太三氏の監修のもと、自然環境との調和を大切にされた落ち着いた雰囲気のコースです。

全体的に戦略性が高く、レギュラーティからは約6,000ヤードと距離は長くありませんが、フェアウェイに微妙なアンジュレーションがあるので、ティーショットの落とし所がポイントになると思います。またコース特有の風が吹けば、さらに難易度が上がることでしょう。

グリーンはベントのワングリーンで、大きな傾斜はないため、あまり曲がらないように見えますが、カップ際で「スーッ」と曲がることも多く、ショートパットでも油断ができずに、繊細なパットが求められます。

また、レストランの料理は美味しいと評判で、人気メニューの「担々麺(冷・温)」「地鶏ガーリック焼」「海鮮焼きそば」をはじめ、定番のカレーやとんかつ、他にも瀬戸内産の「いわしフライ定食」や「焼かまたまうどん」など、地域のメニューも豊富に取り揃えております。

さらにクラブハウスには、ラドン含有の温泉(源泉は冷泉)を備えており、プレー後の疲れを、ほっと癒してくれます。

1998年と2002年には、男子プロのレギュラーツアー「マンシングウェアオープンKSBカップ」を開催し、女子プロでは、ステップアップツアーも4回開催しております。あの横峰さくらプロが、プロ初優勝を飾ったのも、2004年に当ゴルフ場で開催されたステップアップツアーでした。

今年は8月に『香川県ミッド・グランドシニアゴルフ選手権』が開催されますので、夏の間でも、良い状態のコースコンディションが保たれていると思います。

“トーナメント”と、まではいきませんが、良いコースで夏ゴルフを楽しめるように、スタッフ一同皆様のご来場をお待ちいたしております。

支配人 村尾 晃成

鮎滝カントリークラブ



〒761-1707 香川県高松市香川町東谷259-1
TEL 087-897-1111 FAX 087-897-1122

〈事務局からのお知らせ〉

◆強化選手の練習環境整備

13名の強化選手全員に、練習を希望するゴルフ場やゴルフ練習場をアンケートしました。結果、20のゴルフ場全てが営業終了後のコース開放をお受け下さいました。

また、ゴルフ練習場については、すでにジュニアへの優遇がなされている練習場がほとんどでしたが、更なるご配慮をいただいた練習場もありました。

ご協力いただいた関係の皆様には厚くお礼申し上げます。

◆四国地区指定強化選手研修会の成果？

今年の四国女子アマで最年少優勝を果たした河本 結選手(14歳8カ月)は、四国地区強化選手の筆頭格。また同競技で日本女子アマの出場権を獲得した6人中4人までが強化選手研修会の受講者であったことに関係者は一安堵。

研修会の成果、早くも発揮か？

◆四国ゴルフ連盟主催競技の晴天(曇天)続く

競技委員会が新体制になって3年目。雨なしの主催競技が続いている。先般の四国アマ4日間も入梅期ながら雨なし。いつまで記録が続くのか。

◆第64回四国グランドシニア会

次回のグランドシニア会は10月22日(火)土佐CCです。高知県幹事の岩本英起さんにお世話をいただきます。土佐CCでは11月に四国女子インターが開催されます。女性の方々の参加を期待しています。